

ふるさとの先人の教えを、私たちが未来につなぐ!

子ども嚶鳴フォーラム in 恵那

私たちのまちの先人について、学んでいること、
考えていること、活かしていること

ふるさとの先人を地域づくりに活かす全国の市町の小中学生の発表を通して、ICT時代、
アフターコロナの時代の、まちづくり・人づくり・心そだてのあり方を共に学び、考えませんか!

日時 2022年11/19(土) 13:00~15:45 (12:30開場予定)

会場 恵那文化センター 大ホール 岐阜県恵那市長島町中野 414-1
TEL:0573-25-5121

参加 無料。要参加申し込み(詳細は裏面をご覧ください)

出演



鈴木亮平氏

●俳優(ホリプロ所属)



吉田公平氏

●東洋大学名誉教授



童門冬二氏

●作家(ビデオ出演)

●大野町(岐阜県)
釜石市(岩手県)
高鍋町(宮崎県)
東海市(愛知県)
恵那市(岐阜県)の
小中学生の皆さん

司会 西村知穂氏(フリーアナウンサー)

お問い合わせ先 恵那市教育委員会生涯学習課 (TEL:0573-26-2111)

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により内容が変わる場合があります。



恵那市/岐阜県



三好学

1862~1939
●植物学者



山本芳翠

1850~1906
●洋画家



下田歌子

1854~1936
●女子教育者



佐藤一斎

1772~1859
●儒学者・教育家

多久市/佐賀県

多久茂文

1669~1711
●多久四代目領主



高鍋町/宮崎県
石井十次

1865~1914
●児童福祉の父



養父市/兵庫県
池田草庵

1813~1878
●儒学者・教育家



日田市/大分県
廣瀬淡窓

1782~1856
●教育者・儒学者・漢詩人

大野町/岐阜県
所都太郎

1838~1865
●幕末の志士



東海市/愛知県
細井平洲

1728~1801
●儒学者・教育家



木曾町/長野県
山村蘇門

1742~1823
●学者代官



長野市/長野県
佐久間象山

1811~1864
●思想家・兵学者



米沢市/山形県
上杉鷹山

1751~1822
●米沢藩九代藩主



小田原市/神奈川県
二宮尊徳

1787~1856
●農政家・思想家



沖縄市/沖縄県
島マス

1900~1988
●沖縄の社会福祉の母

地区・嚶鳴協議会加盟自治体と
ふるさとの先人(2022(令和4)年度)



主催 嚶鳴フォーラム in 恵那実行委員会、岐阜県恵那市、恵那市教育委員会 ●共催 嚶鳴協議会(大野町、沖縄市、小田原市、釜石市、木曾町、
高鍋町、多久市、東海市、長野市、日田市、養父市、米沢市) ●後援 岐阜県、学校法人実践女子学園 ●企画協力 PHP研究所文化事業部

*このイベントは、恵那電力株式会社の太陽光発電設備で
発電した電気を使用したゼロカーボンイベントです。
*この事業は、令和4年度児童発達支援事業補助金を受けています。

ふるさとの先人を まちづくり、人づくり、心そだてに活かす

佐藤一斎生誕250年記念

おうめい 嬰鳴フォーラム in 恵那 2022

「嬰鳴フォーラム」は、ふるさとの先人を、まちづくり、人づくり、心そだてに活かす全国各地の自治体が一堂に会して、先人の知恵や経験から普遍的な人間の英知を再発見し、よりよき地域づくりへの道を学び、実践していくことを目的としたフォーラムです。第15回目となる本年は、11月18日(金)～19日(土)の2日間にわたって、「『三学の教え』とまちづくり～次代を担う子どもたちのために、今、考えなければならないこと」を全体テーマに市町長・教育長合同会議、視察研修会、交流情報交換会、子ども嬰鳴フォーラム(公開行事)が、恵那市で開かれます。

【名称の由来】「嬰鳴(おうめい)」とは中国最古の詩集「詩経」に出てくる言葉で、鳥が仲間を求めて鳴き交うという意味。転じて、仲間が集まり切磋琢磨しながら、ともに学び成長しあう姿を表します。名君・上杉鷹山の師として名高い愛知県東海市出身の儒学者・細井平洲が江戸に開いた塾を「嬰鳴館」と名づけたことでも有名です。

子ども嬰鳴フォーラム in 恵那

- 開催 2022年11月19日(土)
13:00～15:45(12:30開場予定)
- 会場 恵那文化センター 大ホール
- 開会行事 [ビデオメッセージ] 童門冬二氏
- 子どもフォーラム
[発表] 大野町、釜石市、高鍋町、
東海市、恵那市の小中学生
[コメント] 鈴木亮平氏、吉田公平氏
[司会] 西村知穂氏
- ゲストトーク
鈴木亮平氏
- 閉会行事
※新型コロナウイルス感染拡大の状況により
内容が変わる場合があります。

- 参加申し込み方法
・往復はがきにてお申し込み下さい。詳しくはこちら
- ・1枚のはがきで申し込みができるのは2名までです。
- ・申し込みできるのは、おひとりにつき1通です。
- 〈記入方法〉往信用裏面に、「子ども嬰鳴フォーラム参加申し込み」と明記の上、参加申込者全員の氏名、年齢、住所、連絡先電話番号を明記。返信用表面には、返信はがきの送付先(代表者様の郵便番号、ご住所、お名前)を明記。返信用裏面には、何も記入しないで下さい。
- 〈送り先〉〒509-7292 恵那市長島町正家1丁目1-1
恵那市教育委員会 生涯学習課
- 〈申し込み締め切り〉令和4年10月20日(木) 必着
- 〈参加のご案内〉10月下旬に、座席番号や当日の案内を返信用のはがきでご連絡します。なお、申し込みが定員を超えた場合は抽選とし、結果は10月下旬に返信用のはがきでご連絡します(電話でのお問い合わせには応じかねます)。



講師



ゲストコメンテーター
Suzuki Ryohei
鈴木亮平氏

●俳優(ホリプロ所属)

1983(昭和58)年、3月29日生まれ。兵庫県西宮市出身。2006(平成18)年、俳優デビュー。2014(平成26)年、NHK朝の連続テレビ小説『花子とアン』では、ヒロインの夫・村岡英治役を演じ、2018(平成30)年、NHK大河ドラマ『西郷どん』で主人公の西郷隆盛を演じる。近年の出演作はドラマ『テセウスの船』『レンアイ漫画家』『TOKYO MER～走る緊急救命室～』、映画『燃えよ剣』『孤狼の血 LEVEL2』『土竜の唄 FINAL』など。2022(令和4)年、第45回日本アカデミー賞最優秀助演男優賞を受賞。

Nishimura Chiho

- 司会 西村知穂氏 東海地方を中心にイベントMCやナレーターなどマルチに活躍するフリーアナウンサー。恵那市在住。



コメンテーター
Yoshida Kouhei
吉田公平氏

●東洋大学名誉教授・
嬰鳴協議会顧問

1942(昭和17)年、宮城県岩沼市生まれ。東北大学文学部卒業。九州大学助手、東北大学助教授、広島大学教授を経て東洋大学教授。2013(平成25)年より、東洋大学名誉教授。中国哲学・日本近世思想史専攻。「陽明学」を中心に西洋思想と比較、今日的な意義を探索する。著書に、『陸象山と王陽明』『日本における陽明学』『陽明学が問いかけるもの』『伝習録』『論語』『中江藤樹心学派全集』『王陽明「伝習録」を読む』『陽明学からのメッセージ』などがある。



ビデオメッセージ
Domon Fuyuji
童門冬二氏

●作家・
嬰鳴協議会名誉会長

1927(昭和2)年、東京生まれ。東京都広報室長、企画調整局長、政策室長など要職を歴任。1979(昭和54)年、美濃部亮吉東京都知事の引退とともに都庁を去り、作家活動に専念。『暗い川が手を叩く』で第43回芥川賞候補。1999(平成11)年、春の叙勲で勲三等瑞宝章を受章。『小説 上杉鷹山』『小説 細井平洲』『小説 佐藤一斎』『西郷隆盛』『家庭こそ最良の学校ですー下田歌子先生の生き方・考え方』(恵那市ふるさと学習読本)など著書は600冊以上。

会場アクセス

- 恵那文化センター 大ホール
〒509-7205 岐阜県恵那市長島町中野414番地1
TEL:0573-25-5121



- 電車…JR恵那駅から徒歩15分
- 車…中央自動車道「恵那インター」から3分

※駐車場が少ないため、公共交通機関でご来場下さいますようお願いいたします。

嬰鳴協議会

恵那市、大野町、沖縄市、小田原市、釜石市、木曾町、高鍋町、多久市、東海市、長野市、日田市、養父市、米沢市が加盟し、(株)PHP研究所文化事業部が企画運営協力する協議会で、統括事務局は東海市社会教育課に置かれています(2022(令和4)年度現在)。

